



## 目次

はしがき	i
本書をお読みいただく方へ	iv

### 第5部 大学・学術・教育

#### 序説 大学・学術・教育

	塚原 修一	2
1	先行研究と時代区分	2
2	大学の大衆化と改革	3
3	科学技術政策の展開	4
4	国際化の進行	5
5	ゆとり教育からの転換	6
6	各章の要点	6

#### 5-1 大学の変容

	塚原 修一 羽田 貴史	13
1	大学の構造と変容	13
2	大学財務の動向	14
3	大学組織の変容	17
4	大学評価の導入	20
5	教職員への影響	24
6	変容のゆくえ	26

#### 5-2 国立大学の法人化

	羽田 貴史	29
1	法人化の背景	29

2	国立大学法人の母型——独立行政法人制度と国立大学法人化	30
3	独立行政法人制度から国立大学法人制度へ	33
4	国立大学法人法案の作成	39
5	法人化による課題と展望	46

### 5-3 迷走する大学院教育

荒井 克弘 ..... 48

1	大学院重点化は成功したのか？	48
2	大学院重点化のプロセス	50
3	職業系大学院の創設	58
4	大学院教育を再定義する	62

### 5-4 学士課程教育の改革

塚原 修一 ..... 65

1	大学改革の時代	65
2	組織の再編成	66
3	教養教育の展開	70
4	専門教育の充実	72
5	規制緩和の「効果」	74

### 5-5 教育研究機関の国際化

綾部 広則 ..... 78

1	教育研究機関の国際化への視点	78
2	人材からみた日本の教育研究機関の国際化	79
3	装置・施設・資金からみた日本の教育研究機関の国際化	90
4	評価と展望	96

### 5-6 競争的資金の拡充と改革——政府と民間財団

久須美 雅昭 ..... 100

1	概観——「競争」概念の登場から制度化まで	100
2	科学技術基本法以後の研究資金の傾向	104
3	競争的資金の制度整備——官製プログラム・オフィサー制度の登場	111

4	バブル崩壊後の民間助成財団 .....	114
<b>5-7 産学連携、知的財産政策の展開と国立大学の混乱</b>		
	澤田 芳郎 .....	120
1	産学連携前史 .....	120
2	科学技術基本法と産学連携知的財産政策の展開 .....	122
3	知的財産基本法と大学知的財産本部整備事業 .....	126
4	産学官連携戦略展開事業と事業仕分け .....	138
5	産学連携の行方 .....	142
<b>5-8 研究者の労働市場とキャリアパス</b>		
	綾部 広則 .....	147
1	ポストク問題とは何か .....	147
2	オーバードクター問題からポストク問題へ .....	151
3	キャリアパスの多様化への模索 .....	156
4	評価と展望 .....	161
<b>5-9 日本学術会議の改革</b>		
	後藤 邦夫 .....	166
1	学術会議改革への道程——前史として .....	166
2	橋本行革における位置づけと学術会議 17—18 期の内部討議 .....	168
3	学術会議の「改革」と活動の現実 .....	171
4	今後の展望をめぐって .....	173
<b>5-10 科学研究における不正問題</b>		
	石黒 武彦 .....	175
1	社会問題化する研究上の不正行為 .....	175
2	研究上の不正行為 .....	176
3	研究開発競争下の不正行為 .....	179
4	国内における不正行為の社会問題化 .....	183
5	国内研究管理機関の対処 .....	187
6	世紀転換期の科学と技術の状況のもとで .....	189

## コラム キャンパスにおけるハラスメント

吉野 太郎 ..... 192

- 1 京都大学「Y事件」..... 192
- 2 セクシュアル・ハラスメント対策の制度化 ..... 193
- 3 アカデミック・ハラスメントへの対応のはじまり ..... 194
- 4 課題と展望 ..... 194

### 5-11 技術倫理

黒田 光太郎 ..... 196

- 1 技術倫理教育の急速な普及 ..... 196
- 2 JABEE の設立と技術者倫理 ..... 197
- 3 学協会における倫理綱領の制定 ..... 203
- 4 ホイッスルブローイング（内部告発）について ..... 208
- 5 技術倫理の課題 ..... 211

### 5-12 「ゆとり教育」政策と理科教育

八巻 俊憲 ..... 213

- 1 「ゆとり教育」政策の展開..... 213
- 2 「ゆとり教育」政策が生み出した問題..... 216
- 3 「ゆとり教育」政策の破綻と転換..... 218
- 4 「ゆとり教育」政策下の理科教育..... 222
- 5 理科教育の現場 ..... 226

### 5-13 世紀転換期日本の物理学と物理学コミュニティ

桑原雅子 後藤邦夫 ..... 233

- 1 物理の世紀は終わったか ..... 233
- 2 「基礎科学」の代表としての物理学の隆盛と物理学コミュニティの変容 234
- 3 いわゆる「物理離れ」現象と「物理教育」への関心の増大 ..... 237
- 4 研究テーマにおける世紀転換期の特徴 ..... 238
- 5 物理学と形而上学——「タブー」の消失と形而上学的要素の復権 ..... 240
- 6 世紀転換期からの展望 ..... 241

---

## 5-14 気候変動と地球温暖化の科学研究

矢吹 哲夫 ..... 244

- 1 地球温暖化問題への認識とアプローチ ..... 244
- 2 気候変動のメカニズムへの研究蓄積 ..... 245
- 3 過去から現代に至る気温の推定解析 ..... 247
- 4 気候変動の基本要因についての研究 ..... 250
- 5 気候変動のメカニズムへの研究 ..... 255
- 6 温暖化についての論争（「人為起源温暖化論」VS「自然起源温暖化論」） ..... 260
- 7 課題と展望 ..... 265

## 5-15 ヒトゲノムプロジェクトの展開

加藤 和人 ..... 269

- 1 ヒトゲノムプロジェクトの立上げから完了まで ..... 269
- 2 日本にとってのヒトゲノムプロジェクト ..... 272
- 3 ヒトゲノムプロジェクト以降の動き ..... 277
- 4 ヒトゲノム研究と社会とのかかわり ..... 278
- 5 まとめと展望 ..... 279

## コラム ゲノム解析の展開とセントラルドグマの変容

溝口 元 ..... 281

- 1 セントラルドグマの変容 ..... 281
- 2 ノーベル生理学医学賞との関連から ..... 282

## コラム 感性工学の誕生と展開

溝口 元 ..... 285

- 1 感性工学の定義 ..... 285
- 2 アカデミズムと感性工学 ..... 285
- 3 大学院の場合 ..... 287

## 5-16 新自由主義改革と日本の STS：そのイデオロギー的親和性

	木原 英逸 .....	289
1	新自由主義改革による公共政策と行政の変化——新しい公共経営 .....	290
2	公共政策志向の社会科学の後退と復活 .....	293
3	公共政策志向の STS への転回 .....	298
4	イデオロギーとしての「科学技術コミュニケーション」 .....	303

## コラム 産業技術博物館と産業文化財の野外動態保存 —鉄道システムなど大規模技術文化財の保存

	小山 徹 .....	307
	産業考古学と産業技術博物館 .....	307
	産業技術博物館鉄道など大規模システムの動態保存と現地保存 .....	308
	広義の産業技術博物館と現地動態保存の時代区分 .....	309

## 第 6 部 ジェンダーと市民活動

### 序説 ジェンダーと市民活動

	桑原 雅子 .....	312
1	世紀転換期の特徴——「ジェンダー平等」「市民参加」の推進 .....	312
2	女性の進出・市民活動の多様化——1960～90年代前半 .....	314
3	新しい市民像の形成——市民社会論の系譜 .....	316
4	ジェンダーの世紀転換期——6部「ジェンダー」部門の構成 .....	318
5	市民活動の世紀転換期——6部「市民活動」部門の構成 .....	319
6	6部を構成する各章の要旨 .....	320

### 6-1 「男女共同参画」政策の展開と科学技術

	桑原 雅子 .....	326
1	女性政策は科学技術とどのように切り結んできたか .....	326
2	女性政策パラダイム転換への始動（1979～1995）——前史 .....	327
3	1995～1997年の急展開 .....	330

4	男女共同参画社会基本法の制定（1999年）	333
5	よみがえる女性特性論——バックラッシュ	338
6	男女共同参画政策と科学技術政策の邂逅	339
7	「男女共同参画」政策の10年——まとめと展望	341

## 6-2 科学技術系専門職への女性の進出

桑原 雅子 ..... 346

1	科学技術系専門職女性の可視化——前史 1975～1995年	346
2	科学技術系専門職への進出——プッシュ要因とプル要因	350
3	女性研究者問題のパラダイム転換——1990年代末～2000年代はじめ	354
4	理工系学協会の動き・現場の状況——2000～2010年	358
5	男女共同参画政策と科学技術政策の出会い	361
6	科学技術におけるジェンダー平等をめざして	364

## 6-3 ジェンダー視点に立つ学術研究

桑原 雅子 ..... 367

1	ジェンダー視点とは——ジェンダー概念の多義性をめぐる諸問題	367
2	女性学・男性学・ジェンダー研究の形成と展開	372
3	学術会議の動向——ジェンダー視点による学術の再構築	374
4	人文学・社会科学におけるアプローチ	377
5	科学・科学論を対象とするジェンダー分析	380
6	科学と科学論におけるジェンダー研究の展望	384

## 6-4 「性差」をめぐる言説の大転換

高橋 さきの ..... 388

1	「ジェンダー」の浸透と「性差」の狭義化	388
2	産業構造のシフトと「性差」	389
3	変わり目の時期	391
4	「バックラッシュ」／「ジェンダー・フリーバッシング」と性差	392
5	ジェンダー・ターゲティングをベースとしたウェブ社会	393
6	性差の世紀末転換期と生物学言説	397
7	性差言説に着目することの重要性	406



## 6-5 性同一性障害——議論されてこなかった問題の本質

中村 美亜 ..... 409

- 1 問題設定の誤り ..... 409
- 2 性同一性障害概念の誕生 ..... 412
- 3 日本での性同一性障害概念の広まり ..... 416
- 4 性同一性障害をめぐる誤解 ..... 419
- 5 性同一性障害特例法 ..... 421
- 6 男女共同参画と性同一性障害 ..... 424
- 7 性同一性障害の本質と課題 ..... 426

## 6-6 ジェンダー・バッシングの再検討

木村 涼子 ..... 433

- 1 21世紀初頭の「ジェンダー・バッシング」 ..... 433
- 2 教育をターゲットにしたバッシング ..... 435
- 3 「ジェンダー・バッシング」勢力の主張 ..... 439

## 6-7 妊娠と出産をめぐる医療の危機と社会

松原 洋子 ..... 442

- 1 産婦人科医療の2つの課題 ..... 442
- 2 産婦人科医の偏在と周産期医療の地域集約化 ..... 443
- 3 市民による産婦人科医療批判と「医療崩壊」 ..... 446
- 4 生殖補助医療の普及と学会ガバナンスのゆらぎ ..... 448
- 5 産婦人科医たちの反撃 ..... 450
- 6 転機に立つ産婦人科医療 ..... 451

## 6-8 雇用・労働のジェンダー構造とその変化

桑原 雅子 後藤 邦夫 ..... 454

- 1 工業化・ポスト工業化と女性労働 ..... 454
- 2 日本型生活給モデルの形成と強化——1955～1980年代 ..... 459
- 3 雇用・就業構造の女性化 ..... 460
- 4 デジタル社会における雇用・労働 ..... 465

---

5	まとめと展望	469
---	--------	-----

## 6-9 女性技術者とダイバーシティ推進

守屋 朋子 桑原 雅子..... 473

1	女性技術者の可視化——黎明期 1980年代後半～90年代前半	473
2	統計と実態調査にみる女性技術者	474
3	企業における女性技術者	476
4	ダイバーシティ推進施策	478
5	まとめと展望——リーダーの養成に向けて	480

## コラム 高専卒女性技術者の就労

内田 由理子 ..... 483

	高専の沿革／高専女子学生の概要	483
	高専女子卒業生の就労の変遷	484
	世紀転換期の技術職	485

## 6-10 医療体制の変化と女性医師

瀧野 敏子 ..... 487

1	前史として——少数派時代の女性医師	487
2	女性医師数の増加	488
3	医師不足の中の女性医師の労働問題	493
4	女性医師をめぐる動き	495
5	NPO等サポート組織の活動	498
6	プロフェッションとしての女性医師	499

## 6-11 医療提供体制と看護師の労働

田中 幸子 ..... 501

1	看護師の労働の特色	501
2	看護師の労働前史(1945～1980年代)	502
3	准看護師制度問題	504
4	看護師の夜勤体制	505
5	男女雇用機会均等と男性の看護師・保健師の増加	507

6 “医療崩壊”と看護師の過重労働	508
7 看護師の役割拡大と外国人看護師の導入	510
8 超高齢社会と看護師の人材確保——生涯現役社会の構築をめざして	511

## コラム 看護職の職位

中島 美津子 ..... 517

行政における看護職の独立	517
看護職の法的整備と看護教育制度整備	517

## 6-12 NPOの動向と公益法人改革

川野 祐二 ..... 521

1 阪神淡路大震災とNPO	521
2 特定非営利活動促進法と市民活動の影響	522
3 NPO法の特徴と民セクター	524
4 KSD事件と公益法人批判	526
5 公益法人制度改革	528
6 新しい公共と公益性の逆転	529

## 6-13 都市の変貌とコミュニティ拠点の再編 ——建築計画学の視点から考える

神野 郁也 ..... 532

1 コミュニティ施設前史（1990年以前）	532
2 都市生活者の台頭と都市的コミュニティ（1990年代～）	537
3 施設から拠点へ——新しい「公共空間の提唱」（1990年後半～）	542

## 6-14 消費者運動と欠陥商品問題

川野 祐二 ..... 551

1 告発型消費者運動の時代	551
2 消費者問題の多様化	553
3 欠陥車問題と食品安全問題の再発	555
4 消費者保護から消費者権利へ	561

---

## 6-15 脳ブームの社会的背景とマスメディア

住田 朋久 磯部 太一..... 568

- 1 世紀転換期の脳ブーム ..... 568
- 2 神経科学から脳科学へ ..... 570
- 3 脳科学の推進政策 ..... 571
- 4 マスメディアの役割 ..... 572
- 5 まとめと展望 ..... 574

## 6-16 科学技術コミュニケーションの政策的振興

中村 征樹 ..... 577

- 1 科学技術理解増進活動の政策課題化 ..... 577
- 2 変化への兆候——科学技術への市民参加という観点 ..... 581
- 3 科学技術理解増進施策の具体化 ..... 586
- 4 科学技術コミュニケーションの普及 ..... 593
- 5 日本の科学技術コミュニケーション政策の特質と課題 ..... 596

## 6-17 参加型テクノロジー・アセスメントの展開

若松 征男 ..... 599

- 1 「最初の10年期」における参加型テクノロジー・アセスメント ..... 599
- 2 参加型TA前史 ..... 600
- 3 日本におけるコンセンサス会議の試行 ..... 603
- 4 公的機関によるコンセンサス会議開催 ..... 605
- 5 多彩に開かれた参加型TA関連イベント ..... 608
- 6 参加型TAを取り巻く環境の変化 ..... 612
- 7 制度化に向けて ..... 616

## 6-18 市民科学助成と市民科学者養成

### —高木仁三郎市民科学基金の助成事例を中心に

菅波 完 ..... 621

- 1 高木仁三郎と「市民科学」..... 622
- 2 高木基金の設立運営および助成のすすめ方 ..... 623

3	高木基金設立以前における「市民科学」の先行事例	625
4	高木基金の助成事例にみる市民科学の実践	626
5	「市民科学」を実現するための社会的な枠組みの必要性	632

## 6-19 「物理学者の社会的責任」シンポジウムと日本物理学会

	白鳥 紀一	637
1	「物理学者の社会的責任」シンポジウム	637
2	発足の経緯	637
3	シンポジウムの性格と取り上げたテーマ	640
4	日本物理学会との関係	642
5	シンポジウムを巡る環境の変化	643

## 6-20 技術者の運動——現代技術史研究会の活動を中心に

	井野 博満	648
1	「技術者」という存在	648
2	「技術者運動」存在の根拠	649
3	現代技術史研究会の成り立ちと活動	650
4	世紀転換期から21世紀初頭に至る活動	655
5	まとめと展望	659
	第3巻執筆者	662

